



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 2024年4月20日 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 第761号 毎月1回20日発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

新入社員の皆さん 入社おめでとうございます



私たちはJR東日本グループで働く社員で結成している労働組合、「JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)」です。

組織拡大 各地で続々!

41名

定期大会(6.12)以降、



JR東労組は、1987年3月3日に結成されました。国鉄改革の理念である「雇用の確保」「鉄道の復権」「健全な労使関係」を実現するために団結を強化し、今年で結成37年を迎えます。「命」を最大の価値基軸に据え、「抵抗とヒューマニズム」の精神のもと、組合員の雇用と労働条件、鉄路を守るためにたかたかしてきました。

これまでも賃上げを含めた労働条件改善や、「安全・健康・ゆとり」を実感できる施策をめざす取り組みなど、JR東労組は会社と団体交渉等で議論し、労働協約・協定の締結などを行ってきました。

JR東労組は、2018年の春闘において、組合員との対話・準備が不足したままストライキ方針を掲げ、労働協約に定められた手順を踏まずにストライキを通告したことが決定打となり、多くの組合員が脱退することになりました。

JR東労組は組合員の声に踏まえ、信頼を裏切ったことを反省して、「大敗北」と総括し、「新生JR東労組運動宣言」を掲げて再出発しました。以降、組合員の声を第一として対話を積み重ねつつ、未加入の方や脱退を余儀なくされた仲間へ呼びかけ、2023年6月12日の第42回定期大会以降、新規加入者・再加入者は40名を超え、仲間が拡大しています。

加入の決め手は、職場問題や安全問題、そして賃金等の労働条件に対する会社への危機感、その改善を実現するにはJR東労組が必要だと実感されたことです。そして、仲間を大切にしたい、そして加入を訴える職場での組合員の実践によって、共にJR東労組で奮闘していこうと決意をいただいています。

会社施策のスピードが上がる中、「安全なくして労働なし」の視点で、団体交渉等で会社に対して指摘・改善できるJR東労組の必要は高まっています。職場には、問題意識を持ち、悩んでいる仲間、未加入の仲間が多くいます。引き続き職場現実を出発点に、JR東労組の必要性と加入して共に頑張っていくことを訴えます！

一緒に働きやすい職場をつくりましょう！JR東労組への加入をお待ちしています！

加入の問い合わせは、お近くのJR東労組役員か、JR東労組ホームページお問い合わせフォームまで！



通院・通学など生活に密着した移動を支える路線バス。これまでは人口減少が続く過疎地での減便等が問題とされてきたが、近年は住民の高齢化による通勤需要の減少や運転手不足によって、東京や大阪といった都市部でも路線の廃止や縮小が相次いでいる▼各自治体で地域公共交通会議が開催され、路線維持のための議論が続いているが、今後は運転手不足による路線廃止が加速度的に増えると考えられる。実際、この一年間で高速バス路線の廃止が顕著化し、高速線が利益を出して地方ローカル線を維持するというバス事業の経営モデルが崩れてきている▼運転手不足の対策として、若い世代を定着させるために運転手の給料を公的支援するという方法がある。そのため、バス会社が運転手不足の現状をきちんと情報公開した上で、地域の移動手段をどう守るのか、各々が「自分事」として捉える必要がある▼職場のリアルな実情を掴んでいるのは職場で働く私たち労働者であり、仲間の声を訴えるには組織力が必要だ。安全・健康・ゆとりを実現でき、地域に愛される公共交通をつくり出そう。

(K・I)